本社 東京都中央区日本橋 (非公開:西川庄六邸を店舗として運営当時の商人屋敷を保存し 代表取締役 社長西川宗行氏

時代を乗り越え今日に至り、 順調な事業の発展 企業努力が現在の繁栄へと繋がっています。 近江八幡開町四三〇年の八幡商人の神髄がここに証さ 先祖の慰霊物故者への感謝が精神的支柱となって

幕末明治維新の動乱期を乗り越え、 九代目は先代の後妻の弟、 七十五歳で没しました。十代目庄六は数宗と称 近江八幡に本宅を置き、 砂糖、綿花、扇子と祖業を継承し一貫した経営は近江商人の中でも数少ない存在です。 隆之介で長浜の大塚家より入家し西川仁右衛門家八代目の次女を その家屋は豪商としての典型的な商家の姿を止めています。 第一、 第二次世界大戦の不自由な統制経済 昭和五 (1930) 年東京で生ま

を寄贈しました。東京熱海軽井沢と別邸を設け商勢は益々隆盛を極め、 の徳蔵家五代目次女エイを娶りました。 の子女があり長女は西川仁右衛門家に嫁ぎ、長男六代目庄六、 804)年四十六歳で没しました。 は七代目庄六家の室となりました。六代目庄六は数利と称し、 財を得ました。三代目同様に佃房の門に入り俳句を好み多くの名士を招き師事しました。 徳蔵家三代から嗣子得て、 十九歳で継ぎ商勢の拡大を図り節約の家風を守り家業の繁栄に務め巨万の蓄 三十五歳で没しました。 八代目は数興は一燈園西田天香師に山科の広大な土地 俳号を「可積」といい、子がな 三男は十代目利右衛門家に次女 七代目庄六は数富と称 六十七歳で没しました。 し同族 五人

に興しました。四代目は庄六は数賀と称し、

妻は利右衛門家六代の五女を娶りました。文化元(1

四男は理左衛門家を新

度な商才が必要とされると共に高度な教養も求められていました。 商人の家庭では、謡曲・和歌・俳諧・囲碁・蹴鞠・浄瑠璃・

H三歳で死去したが、九人の子宝にも恵まれ、

長男は本家利右衛門家を継ぎ

次男は亀蔵家の初代、三男が四代目西川庄六となりました。

にと伝えられています。

出店や商い先への往来に伴い各地で吟行を行っていました。

華道・茶道等を嗜み、

家業の為高 当時近江

寛政七

(1795) 年に五

中国地方の俳人とよく交わり加賀千代女とも交友があっ また、佃房原元(つくだげんげん)の門に入り「可昌」と号し、

多くの秀句を残しました。北陸地方、 ③の最盛期を築いたと言われてます。 いは盛況を極めました。また、 五十二歳で没しました。

祖業である畳表緑地、

(1744) 年に養父の死去により家督を継ぎ三代目西川庄六、

蚊帳の他に琉球黒糖を取り扱い、

実父四代目利右衛門の支援を得て江戸日本橋に出店、

貴重品である砂糖は引く手数多で商

西川庄六

諱を数久と改めました。

|代目西川庄六は本家四代目西川利右衛門数常の子で十六歳の時に養嗣子に迎えられ、

にのが初代で西川庄六です

初代は五十八歳で没しました。

初代は寛文六 (1666) 年生まれで本家同様に大文字屋と称し大

(ボーダイ)

と唱えて蚊帳

真綿等を持ち下り商内の基礎を築き八十歳で没しました。

(通称利兵衛) は元禄七

(1694) 年に生まれ初代の業を継承し刻苦精励.

- 利右衛門数政が武士から商人になり近江八幡に移りました。現在の資料館の旧西川利右衛門

二代目は利右衛門重数で、

重数の子が分家し独立し

近江八幡開町の祖

「豊臣秀次」

ح

「八幡商人」

430年の道

F A X

0748 32

 $\frac{3}{5}$

 $ar{f 4}$

(有)ほのぼの館

クイズ係

当選者発表

西本郷町 N・Yさん

西川庄六】(新町

の家臣で(現、

竜王町西川)

に隠遁した西川勘右衛門数吉であり



作品の展示会や、各種の説明会、その他様々な催し物に 以下の料金でご利用いただけます。蔵の前にはヴォーリ ズ建築(アンドリュース記念館)が見える屋外スペース

料金 2,500 円/3 時間 5,000 円 / 1 日 25.000 円/1 週間

土日祝 3,750 円/3 時間 7,500 円/1日 25.000 円/1週間



料金 土日祝 3,000 円 / 1 日 4,500 円/1日 15,000 円/1週間 15,000 円/1週間 ※1区画 24 ㎡あたりの料金です

co-ba OMIHACHIMAN にもう一つの自分の拠点を作りませんか?



・いずれのスペースも、ご利用時間は10:00~16:00です。

(火曜日・木曜日は定休日 ※祝日の場合除く) これらの 時間以外での利用については別途お問い合わせください。 ・各スペースご予約の際には、搬入搬出や事前準備などに

ついて、事前に必ずお打ち合わせをさせていただきます。

・物販や飲食の店舗等のスペースとしてご利用をご希望の

場合は、上記の旧粕蔵、旧槽蔵以外に、旧酒蔵の仲屋町

通り側入口付近の店舗用スペース【税別 45,000 円~/月

(賃料、光熱水費、駐車場代込み)など】が別途ございま

ギャラリーのご利用については、9月~12月までの

ご予約受付中です。詳しくは下記までご相談下さい。

すのでお問い合わせください。

異なる職業や仕事を持った人々で共用の仕事場等として利用するスペースです。 見学等をご希望の場合は以下のメールアドレスまでお問い合わせ下さい。



coba.omihachiman@gmail.com

co-ba OMIHACHIMANは、どんなワークスタイルにもご利用いただけます。 事業の事務所として、また打ち合わせ場所やNPO活動等の活動場所、そして週末の趣味の場所等、スペースの使い方は 人それぞれです。co-ba OMIHACHIMAN にもう一つの自分の拠点を作りませんか? 月額利用(スタンダードプラン月額5,500円)、1day利用(500円/日)など、あなたの働き方に合わせてご利用可能です。



co-ba(⊐-/ĭ) **OMIHACHIMAN**は どんなワークスタイルにも ご利用いただけます。

◆営業時間 10:00~16:00

休業日はウェブサイトを ご確認ください。

その中心にある客室3部屋のみの小さなゲストハウスです。

お食事はオプションです。

トイレと洗面は1階と2階の両階にあります。 浴室、シャワー室は1階です。(共同)

・Wi-Fi は、全館で使えます。 ・チェックインは、15:00 ~ 18:00

・チェックアウトは 10:00 まで

提携店をご案内致します。







http://www.machiya-club.org/



HACHIMAN

幡堀界隈

知って得して、見て得して、町の歴史

八幡堀界隈のお店へ行こ

抽選で 5

優れた句を残しました。

西川庄六は俳人佃房原元 (つくだげんげん)の門下となり

「可昌」

と号したのは何代目庄六でしょう。

▼ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上:

葦菓子と喫茶券ペアを差し上げます

官製はがき又はFAXでご応募下さい。抽選でお送りします。

応募締切は9月5日必着)

www.hachimanbori.com

燕にならんで鳰の出舟哉 烟たつ野末の家や柿紅葉

・面影ははやふる雪の仏かな

山吹にうるおす明や宇治の

佃房原元の霊前に捧げた句より安永四未年の作

「可昌」として多くの句を残しました

HONOBONO-Tsushin





シフォンケーキ (17cm 税込 1400円) (15cm 税込 980円)

はっさく … 1番人気のオリジナル商品 滋賀県産の小麦粉「湖月」を使い、滋賀県の2つの養鶏場の新鮮な卵をブレン

ドして、ケーキに合わせた洋酒で風味をつけたこだわりのシフォンケーキです。 9月末までのキャンペーン! 予約をしてお店まで取りに来て頂いたお客様限定

1400円(税込) のシフォンケーキ ▶ 1080円(税込) の感謝価格 携帯 080-4025-5420 Email:necolife5420@gmail.com

滋賀県近江八幡市小船木町109(小船木公民館前) 受付時間9時~4時まで ※工房の為店内販売は致しておりません

Classic Style & **Modern Comfort**

https://www.omi-machiyainn.com

談話 2階は客室1部屋(洋室)となります。

(電話対応: 10:00 ~ 16:00) E-mail info@omi-machiyainn.com









〒523-0862 滋賀県近江八幡市仲屋町中 21 TEL/FAX 0748-32-4654

八幡まちや俱 ※駐車場はTimes駐車場(徒歩2分・最大500円/日) 自転車、バイクは施設内に駐車可です。

KYOTO SHINBUN TOMATO CLUB

元部門ファミリー元流



方は郵



お誕生日・記念日 花束プレゼント(9月の方)3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタツクーキロ 8個入り(1ケース) 5名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

*パリ・マグナム写真展

京都文化博物館 9月18日迄 8名様

*十人陶色 豊かな色の世界展 滋賀県立陶芸の森陶芸館

複算県立陶芸の森陶芸館 9月24日迄 30名様

*写真展 オードリーヘップバーン 今よみがえる、

9月25日迄 20名様

永遠の妖精 ファッション編 大丸ミュージアム京都

9月30日迄 50名様

*ガーデンミュージアム比叡 入園引換券

10月2日迄 50名様

*再興第102回院展京都高島屋7階グランドホール10月2日迄

10月9日迄 40名様

*京の至宝 黒田辰秋展 美術館「えき」 KYOTO 10月9日迄

11月12日迄 30名様

*特別展 地獄絵ワンダーランド龍谷ミュージアム 11月12日迄 *井上章一の現代洛中洛外もよう スクラップブック

20 名様

*ウォーキング記録マップセット

20 名様

近江八幡の観光スポットを訪ねてみませんか!

大嶋奥津嶋神社は、大国主神(おおくにぬしのかみ)を御祭神とする大嶋神社、奥津島比売命(おきつしまひめ)を御祭神とする奥津嶋神社が合祀された神社です。

昔、天智天皇が蒲生野に遊猟の際、奥津嶋神社に立ち寄り、8人の子供を持つ大変健康的な老夫婦に出会いました。天智天皇は、この老夫婦に、「汝ら如何に斯く長寿ぞ」と長寿の秘訣をお尋ねになり、老夫婦は、「この地で取れる無病長寿の霊果を毎年秋に食します」と答えました。それならば、と天智天皇もその果物を一口お召し上がりになり、「むべなるかな(もっともであるな)」と一言おっしゃ

いました。この時に発した「むべ」という言葉が、そのまま果物の名前となり、以来、朝 廷に毎年献上することになりました。

鎌倉時代の弘長2年(1262年)に記された、他人の悪口や告げ口を固く禁じ、村人の団結を図った「村掟」である「奥嶋百姓等庄隠規文」を含む、大島奥津島神社文書(222通)1巻、32冊、3枚が国の重要文化財に指定されています。他に、平安時代の作とされる木造大国主尊坐像、平安時代から鎌倉時代の作とされる菊花螺鈿鞍・黒漆鞍・黒漆鐙があります。

また、大嶋神社の御祭神である大国主命像(国の重要文化財)は等身大の見事なものです。 春には4月17日に松明祭が行われます。



写真:前出のむべ家 むべパンフレットより抜粋

大嶋奥津嶋神社

滋賀県近江八幡市北津田町 529 [電話] 0748-34-8515



ご利益】地域・家内安全、 病気平癒、健康長寿

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504



